

# 台湾マダラクワガタ *Aesalus imanishii* Inahara & Ratti, 1981 のタイプ標本

横川忠司・山内健生

〒 669-1546 兵庫県三田市弥生が丘 6 丁目 兵庫県立大学  
自然・環境科学研究所／兵庫県立人と自然の博物館

Notes on Types of *Aesalus imanishii* Inahara & Ratti, 1981 (Coleoptera: Lucanidae)

Tadashi YOKOGAWA and Takeo YAMAUCHI

## 緒言

稲原延夫コレクションは、世界のクワガタムシ科を中心とした昆虫標本コレクションである（横川・山内, 2018）。このコレクションは稲原氏の没後約 15 年間、株式会社日本生命保険相互会社で保管されたのち、2001 年に兵庫県立人と自然の博物館に寄贈され、収蔵されている。稲原氏が新種として記載した 2 種について筆者らが調査した際に、そのうちの 1 種である台湾マダラクワガタ *Aesalus imanishii* Inahara & Ratti, 1981 のタイプシリーズに、原記載論文（Inahara & Ratti, 1981）と異なる点があったので報告する。

## タイプシリーズと原記載論文の相違点

原記載論文には “Holotype and Allotype in Inahara Collection (accession No. 107701–107702)” とあるが、ホロタイプ（♂）とアロタイプのラベル（♀）が付された標本の accession No. はそれぞれ 107701 と 107704 であり、アロタイプの accession No. がこの論文の記述と異なっている（表 1）。また、この論文では、アロタイプ以外のパラタイプは 3♀ であり、それぞれ、共著者の Pietro Ratti 氏、採集者の今西修氏、そして比叡山自然科学館が保管している旨が明記されている。しかし、稲原コレクションに

は、パラタイプラベルが付いた、この論文と同じデータの 2♂ (accession No. 107702–107703)、パラタイプラベルのみで採集データや accession No. が付されていない 1♂4♀ の標本が存在しており（図 1, 4）、パラタイプがこの論文より多く存在する。なお、この論文に記述されているタイプシリーズの採集日は “March 22–23, 1974” であるが、標本のラベルはすべて “III-22, 1974” となっている。

## 考察

上記の通り、担名タイプであるホロタイプは原記載論文のほぼ記述通り存在する（唯一異なるのは上記の通り採集日の表記である）。したがって、分類学上の問題は生じない。一方で、パラタイプについてはこの論文とは標本数、採集データや accession No. が異なる。特にこの論文中でパラタイプに指定されている 3♀ については、筆者らが調べた限り、現在の状況は不明である。標本の採集者であり、パラタイプを保管しているとされる今西修氏と以前交流があった、山口雄二氏と奥田則雄氏も現在の連絡先や状況は把握していないとのことであった。この 3♀ は稲原氏以外が保管予定だったために稲原コレクションの accession No. ラ

表 1. 兵庫県立人と自然の博物館に収蔵されている台湾マダラクワガタのタイプシリーズ。

accession No.	タイプラベルの種類	性別	ラベルに記された採集年月日
107701	ホロタイプ	♂	22.III.1974
107702*	パラタイプ	♂	22.III.1974
107703	パラタイプ	♂	22.III.1974
107704	アロタイプ	♀	22.III.1974
なし	パラタイプ	♂	なし
なし	パラタイプ	♀	なし
なし	パラタイプ	♀	なし
なし	パラタイプ	♀	なし
なし	パラタイプ	♀	なし

\*原記載論文ではこの個体がアロタイプに指定されている。



図 1. 台湾マダラクワガタ *Aesalus imanishii* のホロタイプ（♂）。A：標本；B-1：採集データラベル；B-2：accession No. が記入されたコレクションラベル（B-1の裏面）；C-1：ホロタイプラベル；C-2：C-1の裏面；D：その他のラベル。



図2. リュウキュウノコギリクワガタトカラ列島亜種 *Prosopocoilus dissimilis elegans* のホロタイプラベル裏面。

ベルを付けなかったと考えると、採集データと accession No. が付されていない♂4♀にこの3♀が含まれている可能性は否定できない。

ところで、原記載論文中には "Male and Female are external identify (same form) and it is necessary to process at the genitalia observations for separate the two sexes." とある (文脈からは are の後に not が入ると推測され、文法から Female の F は小文字が正しい)。そして、雌雄の交尾器の解剖と作図はもう一人の著者である Ratti 氏が行ったことはほぼ確実である。稲原氏はクワガタムシ科の大型種ですら交尾器は観察しておらず、小型種の解剖に必要な道具も所持していなかったとのこと (奥田則雄氏私信) から容易に判断できる。しかし、稲原コレクションの本種のいずれの標本にも交尾器標本が付属していない。標本の破損の恐れがあるため交尾器が取り出されたかの確認は行わなかったが、少なくともいずれの標本も腹部腹板が取り外されてはいない。この論文の交尾器の図の説明には、性別のみでタイプの種別が書かれていない。したがって、Ratti 氏が交尾器を観察した標本はタイプ標本ではなく、稲原氏が Ratti 氏に恵与あるいは他の標本と交換した標本である可能性が高い。タイプ標本以外にも同時に採集された標本が存在することは、水沼・永井 (1994) に図示されている 1♀が、このタイプシリーズと同じ採集データであり、今西氏から入手された個体にも関わらず、タイプ標本ではないことからわかる。ちなみに本種は、♀の後脛節の先端が膨らむことで外見から肉眼でも性別を区別できる。

原記載論文では前記の通り、アロタイプ (♀) が指定されている。しかしアロタイプラベルは、稲原氏が付けた可能性は低いと考えている。稲原氏のホロタイプラベルでは、図 1C-1 のように、

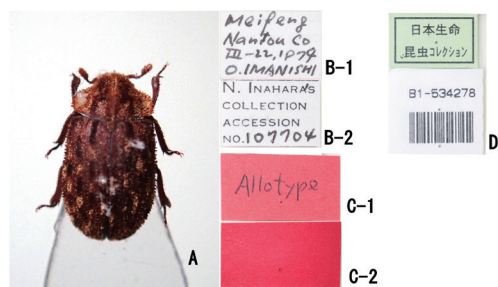


図3. タイワンマダラクワガタ *Aesalus imanishii* のアロタイプ (♀)。A: 標本; B-1: 採集データラベル; B-2: accession No. が記入されたコレクションラベル (B-1の裏面); C-1: アロタイプラベル; C-2: C-1の裏面; D: その他のラベル。



図4. 現在の稲原コレクション中のタイワンマダラクワガタ *Aesalus imanishii*。ホロタイプとアロタイプはタイプ標本保管金庫に移動されており、その際に付けられたと思われるメモが残されている。その他の標本 (3♂4♀) にはすべてパラタイプラベルが付されている。

「HOLO」が手書き (水性ボールペンのようなインク) ですべて大文字、「-TYPE」はタイプライターによる印字で、HOLO と TYPE の間に - (ハイフン) が入っており、さらに NO.VII-1 と記述がある。また、このラベルは白い紙を赤い油性マジックで塗りつぶしたものであることが裏面からわかる (図 1C-2)。これは稲原氏が 1958 年に記載した *Psalidoremus elegans* Inahara, 1958 (現在はリュウキュウノコギリクワガタトカラ列島亜種 *Prosopocoilus dissimilis elegans*) のホロタイプラベルと全く同じ様式である (図 2)。これらのことから本種のホロタイプラ

ベルは、稲原氏が作成したものであり、22年以上同じ様式を使用していたと考えられる。一方、アロタイプラベルは、Allotypeの文字がすべて油性ボールペンの手書き、大文字は最初のAだけ、ラベルの紙は表裏ともに同じ色であり、おそらく株式会社志賀昆虫普及社の有頭昆虫針の包み紙である(図3C-1, 2)点など、ホロタイプのラベルと大きく異なる。そうだとすると、このラベルがどういう経緯で付けられたのかが疑問になる。筆者らが調査する以前に、本種のホロタイプとアロタイプは稲原コレクションの本種の位置(図4)から当館のタイプ標本保管金庫へ移動されていた。移動の際に作られたと思われるメモ(図4)が、これらの標本があった場所に残されている。このメモには「Allo 金庫」と書かれており、当館で作成されたもので間違いはないだろう。このメモのAlloの表記(Aだけ大文字)がアロタイプラベルと同じであり筆跡も似ている。これらのことから、当館で金庫への移動のときに作成したものである可能性が高いと筆者らは考えている。

さらに他のパラタイプ標本には、アロタイプラベルと同じ紙で作成され、スタンプによって印字されたと思われる「Paratype」ラベルがついている。少なくとも、稲原氏と長年の付き合いがあった前出の奥田氏はこのようなスタンプの存在は知らないとのことである。そもそも稲原氏がパラタイプを指定したのは本種のみであり、わざわざこのためだけにスタンプを作成したとは考えにくい。また稲原コレクションには多数のパラタイプ標本が含まれるが、通常は命名者がパラタイプラベルを付けるために、当然ながらこのスタンプによるパラタイプラベルは見つかっていない。以上のことから、当館受け入れ時にはホロタイプ以外にタイプラベルは付いておらず、保管金庫に移動する際にその他の標本すべてにアロタイプラベルおよびパラタイプラベルを付けたために、アロタイプとパラタイプのラベルの紙が同じものであることは十分に考えられるだろう。

しかし、稲原コレクションの他の標本に、アロタイプやパラタイプラベルと同一と思われる紙が貴重な産地や特大標本などを目立たせるために付けられている(横川・山内, 2018)ことと、パラタイプラベル作成に使われたスタンプが当館から見つかっていないため、稲原氏自身がアロタイプとパラタイプのラベルを付けた可能性は否定できず、未解明な部分が残る。この原記載論文は、稲原(1982)によると、「1975年に原稿を送ったものであったが、様々な手違いから紀要に掲載される

のが6年も遅れたことは全くミステリーとしか考えようがない。」とあり、紆余曲折があって掲載されたようである。このような経緯の中で混乱が生じたのかもしれない。

### まとめ

兵庫県立人と自然の博物館に収蔵されているタイワンマダラクワガタのタイプシリーズのうち、担名タイプであるホロタイプは原記載論文のほぼ記述通りであり、分類学上の問題は生じない。しかし、その他のタイプシリーズについては原記載論文とは異なる部分が発見され、具体的に指摘し、その経緯について考察した。

### 謝辞

稲原延夫氏と今西修氏についてご教示いただいた奥田則雄氏と山口雄志氏、標本針の包み紙についてご教示いただいた株式会社志賀昆虫普及社、ならびに原稿への有益なコメントをいただいた奥島雄一博士と1名の匿名査読者に深くお礼申し上げます。

### 引用文献

- 稲原延夫, 1982. クワガタとともに40年. 昆虫と自然, 17 (10): 18-23. pl.
- Inahara, N. & P. Ratti, 1981. Description of a new species of Lucanidae from Formosa (Taiwan): *Aesalus imanishii*. Bull. Ann. Soc. Royale Belge d'Ent., 117: 189-194.
- 水沼哲郎・永井信二, 1994. 世界のクワガタムシ大図鑑. 月刊むし・昆虫大図鑑シリーズ①. むし社, 東京, 337 pp. 156 pls.
- 横川忠司・山内健生, 2018. 「兵庫県立人と自然の博物館」に収蔵されている稲原延夫コレクションのクワガタムシ科標本. さやばねニューシリーズ, (30): 22-26.

(2018年9月4日受領, 2018年11月29日受理)

### ◇学会の発行物・バックナンバーの販売委託先◇

昆虫文献 六本脚

〒102-0075 東京都千代田区三番町 24-3

三番町 MY ビル 3 階

TEL: 03-6825-1164

FAX: 03-5213-1600

E-mail: roppon-ashi@kawamo.co.jp

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>